

「観光地の環境に配慮した工事について」

静岡県土木施工管理技士会 島田地区

大石建設株式会社

主執筆者 主任技術者 原田賢一(技術者番号123129)

共同執筆者 現場担当者 柴山大治(技術者番号125726)

工 事 名 令和元年度 大井川環境整備工事

工 期 令和元年9月2日～令和2年3月27日

発 注 者 国土交通省 中部地方整備局 静岡河川事務所

施 工 箇 所 島田市宝来地先

【施工箇所位置図】

(宝来)



【工事概要】

河川土工 1式、護岸基礎工 1式、法覆護岸工 1式、根固め工 1式、付帯道路工 1式
構造物撤去工 1式、仮設工 1式

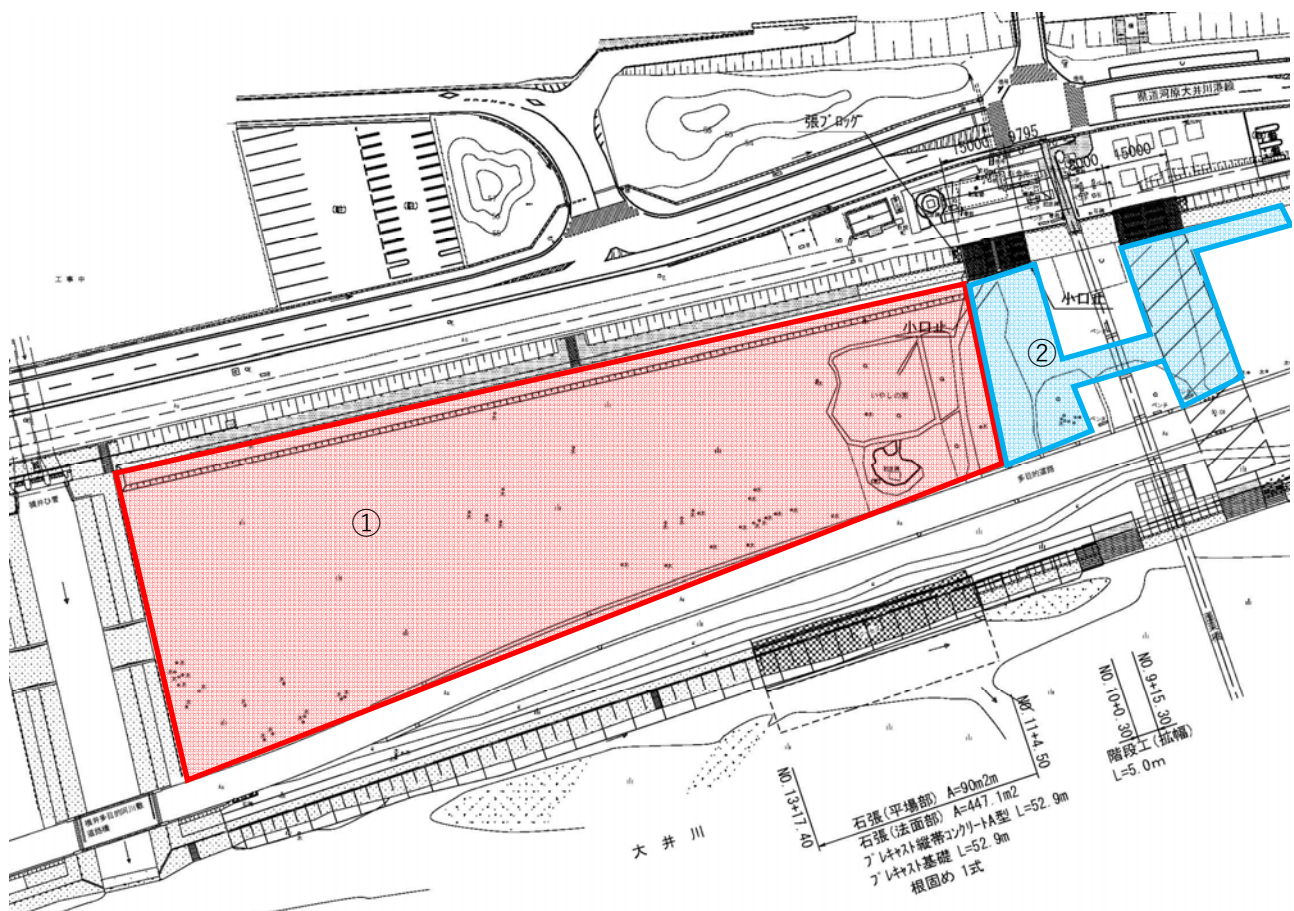
【はじめに】

当現場は島田市大井川の観光地である蓬莱橋上流で環境を整備する工事である。

当初工事は護岸工事を主とする環境整備工事であった。

【現場における問題点】

- ① 蓬莱橋上流およそ1万m²に及ぶ土地が草木が覆い荒れ地となっていた。
- ② 蓬莱橋茶屋から大井川マラソンコースまでの間が砂利道のため、歩き辛く自転車の走行が困難であった。



【対応策・改善点】

①大井川蓬萊橋上流

蓬萊橋上流の改良工事は、島田市考案の「大井川宝来地区かわまちづくり計画」があるので、発注者と島田市との協議が必要となった。

現場では発注者とどの工法が環境に配慮したものになるかの協議を重ね、除草・整地だけではまた荒れ地に戻ることから、土の入替で協議を行った。

土の入替で使用する材料は、今後「大井川宝来地区かわまちづくり計画」で支障にならないよう山土及びふるい土での施工となった。

除草工事から始め、残存する樹木の確認をし、担当監督員及び島田市観光課の担当者と立木調査を行った。

景観に配慮した選定方法とし、立木調査をもとに樹木の伐採を行った。

伐採・伐根完了後に表土30cmの掘削を行い、入替土25cm・ふるい土5cmの盛土を行った。



除草状況



伐採状況



伐根状況



掘削状況



盛土(入替土)



盛土(ふるい土)

- ・ 除草工は立木が乱雑して箇所での施工のため、機械・手作業での併用作業で行った。
- ・ 伐採工は発注者と島田市立会いのもと1本1本を確認し、伐採する樹木の選定を行った。
- ・ 伐根作業は木根が残らないよう丁寧に行った。
- ・ 掘削作業は所定の掘削厚さが確保できるよう10mピッチで丁張を掛け、確認を行った。
- ・ 盛土(入替土)は天候に注意し、敷均し・転圧を行い、出来形・品質管理を行った。
- ・ 盛土(ふるい土)は樹木の周りでは手作業で丁寧に行った。

②大井川蓬萊橋上下流

担当監督員及び島田市観光課の担当者を含め、現況の砂利道をどう整備していくか、現場での立会・協議を行った。

協議の結果をもとに階段から大井川マラソンコースまでの間を舗装することになった。

舗装は蓬萊橋周辺の景観と環境に配慮した脱色As舗装にて協議し、選定した。

今回施工した階段工と前回工事で施工した階段工との間も行き来できるように舗装でつなげ、駐車場と蓬萊橋までの通路の舗装も行った。



高さ制限ゲート設置



路盤工



乳剤散布



表層工(敷均し状況)



表層工(転圧状況)

- ・蓬萊橋付近での作業となるため、重機と蓬萊橋の接触に注意し作業を行った。
特に蓬萊橋下での作業は高さ制限ゲートを設け、施工時には見張り人を置いて施工した。
- ・施工機械はなるべく小型のものを選定した。
- ・脱色アスファルト乳剤はスプレイヤーの清掃が足りないと、乳剤に色がついてしまうので、スプレイヤーの清掃を徹底して行った。
- ・脱色アスファルトの合材は特殊なので、合材プラント及び施工時期の選定を行った。

【まとめ】

①大井川蓬莱橋上流

草木が生い茂る荒地であったが、景観もよく多目的に利用できる広場となった。



②大井川蓬莱橋上下流

砂利道を脱色As舗装にしたことにより歩きやすく景観と環境に配慮したものとなった。

